

よいどこいの理念

その本人の存在感が最期までそこにある暮らしを支援する
その人らしく最期まで生ききる暮らしを支援する
楽しく、明るく地域の方と地域の中にとり続ける



お花を買いに行きました！

久しぶりに晴れたので、近所の苗ものの屋さんにお花を買いに行きました。きれいな花、見たこともないような花、はな、花！みんな買うことを忘れて、見学して回っていました。買ったお花の苗は早速みんなで植えていただきました。ありがとうございます。大事に育てます(^o^)/ (市原)



スタッフ紹介

名前 川村和志(国分中央)

家族: 両親と同居

好きな食べ物: 魚、卵系

行って見たい所: 台湾

してみたい事: 旅行

《一言》

皆さんと一緒に成長していきたいと思います。

宜しくお願いします。





おめでとうございます



6月にお誕生日を迎えられたのは、歌が大好きな方です。たくさんの歌を知っていて、いつも素敵な歌声を聞かせて下さいます。感情豊かな方で、部屋の飾りつけを見ただけで、涙を流し喜んでくださいました。

これからも一緒にいろんなことを楽しみたいです！お元気でいてください！
(大山)

よいどこい豆知識

毎月の研修から日常でもお役に立てる事を紹介します。
介護サービスを提供する目的が介護保険で定めています。



「(要介護者が)尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な保健医療サービス及び福祉サービスに係る給付を行う」と規定しています。

歳を重ねるにつれて、脳は老化していきますが、すべてが衰える訳ではありません。持っている能力を生かす為にも脳をいきいきしていくことが必要です。

脳がいきいきするに、「日々の生活で、役割を持ち、生きがいを持つ」「適切な快刺激を脳へ入力する」ことが重要です。

馴染みの物や道具を使ったり(作業回想)簡単な課題(満点主義)を行うことで脳に快刺激を与え、やる気(活性化)が出て前向きになります。前向きになる事で、自主的に笑って楽しいことに頭を使っていくことにも繋がってきます。

脳をいきいきする為に、イメージトレーニングがあります。どんなイメージでもいいですが、できれば具体的なものをイメージしてください。例として、好きなタレントの顔、子供の顔など。恋しい異性の顔でもいいです。好きなものをイメージする習慣が脳を活性化しますので試してみてください。

地域交流スペースの予定

《7月の予定》

夕涼み会会議

ライフサポートワーカー各班会議

「地域のひろば」

(霧島市「地域のひろば」推進事業)

・アロマ教室(11日)

・ふちゅうジェンヌ体操教室(15日)



ピアノも利用できます

《7月の予定》
全体会議(2日)
職員研修(16日)
七夕(7日)

＜先月のお客様＞
地域の方々
ご利用者のご家族
他事業所からの見学者

(事業内容)

小規模多機能型居宅介護

鹿児島県霧島市

国分府中町17番8号

電話0995-48-8877

地域サポートセンター

よいどこい

発行責任者:黒岩 尚文

ホームページ



玄関には、今年2度目のツバメの雛が生まれました。1人のご利用者さんが「ツバメの巣を作る家は、災害もなく安全な場所なんだよ」と言われていました。昔から縁起が良い、環境が良いなど色々あります。安全な場所「よいどこい」、自分達も、もっと頑張っていきます。

＜編集＞原野

